

新潟県優良リサイクル事業所 表彰 受賞企業のご紹介

日東アリマン株式会社

食品製造過程での資源循環を通じて廃棄物の3Rに貢献



受賞理由

食品製造過程における資源循環を通じて、廃棄物の削減と再資源化に貢献している。

<連絡先> 日東アリマン株式会社

【住所】 新潟市岡田1578-4 【TEL】0254-22-1181

【HP】<https://shibata-foodpark.jp/company/company7/>

新潟市有機資源センター

受賞の取組み

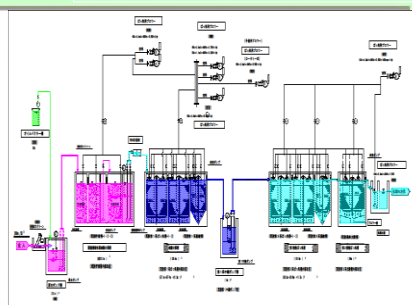
当社は、レトルト食品、冷凍食品などの設計、開発及び製造を行っています。平成22年3月にISO14001を認証取得し、廃棄物の削減及び再生利用の推進を環境方針に掲げて、全社で取組を推進しています。工場では運搬に多くのパレットを使用する中、使用済みパレットの再使用化を促進しています。また、原料由来の廃棄物等のリサイクルを推進し、製造過程での食品循環資源率は99%を維持しています。さらに、排水処理場におけるオイルバクターシステムの導入により汚泥の発生を抑制しています。



注目技術・成果

従来は、原料の選別過程等で発生する動植物性残さを焼却処理していましたが、平成17年に新潟市有機資源センターが建設され、リサイクル化が容易になりました。現在は、工場内での分別作業強化によりリサイクルが進んでおり、動植物性残さのほぼ全量を堆肥原料として再資源化しています。また、工場内の排水処理場では特殊な微生物が油脂を分解するシステム（オイルバクターシステム）を導入しています。これにより、従来は排水過程において年間200トン程度発生していた汚泥を現在ではゼロに抑制できており、廃棄物の削減につながっています。

オイルバクターシステム概略図



展望

工場で運搬に使用したパレットを、必要とする他事業者へ積極的に声がけして引き渡すことで再使用化（リユース）を促進しており、他事業者への3Rの意識付けにつながっていると考えています。木製パレットの破材は処理業者に引き渡し、木製チップ化しています。また、地域の学校などから依頼があった際は見学を受け入れており、当社の廃棄物抑制取組みの周知につながっています。

リユース先業者へ木製パレット引き渡し



新潟県優良リサイクル事業所 表彰 受賞企業のご紹介

エコリサイクル共伸有限会社 使用済自動車のリサイクルを通じて、廃棄物の3Rに貢献



受賞理由

自社での一貫した使用済自動車のリサイクルを通じて、廃棄物の削減と再資源化に貢献している。

<連絡先> エコリサイクル共伸 有限会社

【住所】新潟市北区島見町3268-10

【TEL】025-255-3055 【HP】 <https://global-kyoshin.com>

受賞の取組み

当社では、使用済自動車を引き取り、徹底したリサイクルを行っています。解体後の部品はリサイクル部品として再利用、再資源化、サーマルリサイクル等を行い、埋立ゴミをほぼゼロとすることを実現しています。多くの自動車解体業者では、再利用できる部品の回収後に残った解体自動車をプレスして破砕施設に最終の処理を委託することが一般的ですが、当社では、大型のシュレッダー設備を導入し、自社で最終の破砕処理まで一貫して行っています。



注目技術・成果

使用済自動車からリユース可能部品を取り出し、国内外に出荷しています。また、最新鋭のシュレッダー設備を導入し、解体自動車から鉄や非鉄金属を取り出すだけでなく、さらに手作業による徹底した分別を行い、アルミ、銅、真鍮、ステンレスなどをより高い純度で分け、その後のリサイクルを容易にしています。加えて、一般的に廃棄処分されるシートを手作業で取り外し、サーマルリサイクル燃料等として年間1,000トン前後を出荷しています。これらの取組により、シュレッダーダスト(破砕処理後物)出荷量は減少しており、廃棄物発生量の削減及び埋立処分量の抑制に寄与しています。



展望

自動車保有台数の増加に伴って使用済み自動車の再資源化の重要性が高まっています。このような中、他の自動車解体工場からの破砕依頼が増加しており、廃棄物の発生抑制や埋立処分量の抑制、鉄・非鉄金属の再資源化などに寄与しています。また、引き取りから破砕まで一貫した処理を行っていることから、自動車リサイクル法に基づく循環型処理の全工程が見学できる県内でも稀な施設であり、工場見学を通じて子どもたちにリサイクルの大切さを伝える活動にも取り組んでいます。

